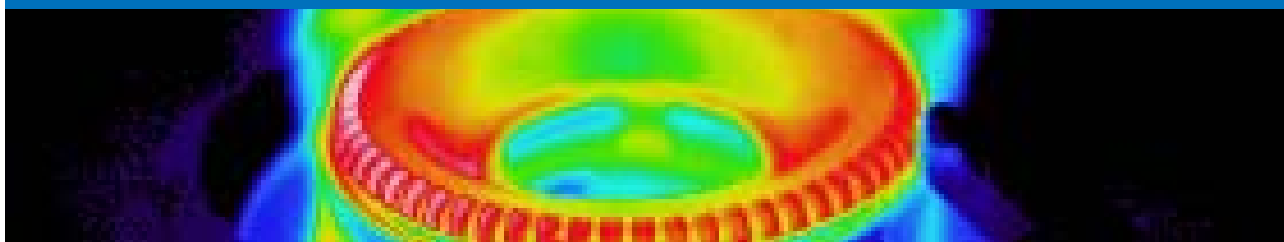


# 赤外線サーモグラフィカメラ

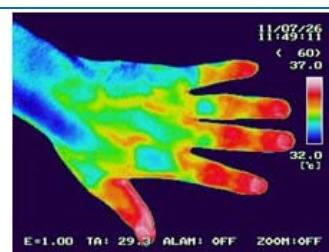


このたび赤外線サーモグラフィカメラを導入いたしました。赤外線サーモグラフィは、対象物に触れることなく温度がリアルタイムで計測できます。目に見えない温度を可視化することで、石油化学プラントの保守検査や土木・建設構造物の検査など、様々な現場において活用が期待できます。

当社では日本アビオニクス社製の火炎越し計測用モデル『R300WB』とスタンダードモデル『G100』の2種類をそろえ、幅広い用途に対応しております。

## ■赤外線サーモグラフィとは

赤外線は、温度を持つすべての物体から放射されており、物体の温度が高くなると、放射される赤外線の放射量も大きくなる性質があります。赤外線サーモグラフィは、物体から放射される赤外線エネルギーを検出し、温度変換して画像表示します。



## ■赤外線サーモグラフィの特徴

- ・赤外線サーモグラフィは、物体に触れず、離れたところから測定することができます
- ・赤外線サーモグラフィは、1点の温度値ではなく、面として広範囲の温度分布を映像化します
- ・赤外線サーモグラフィは、応答速度が速く、リアルタイムの計測が可能です

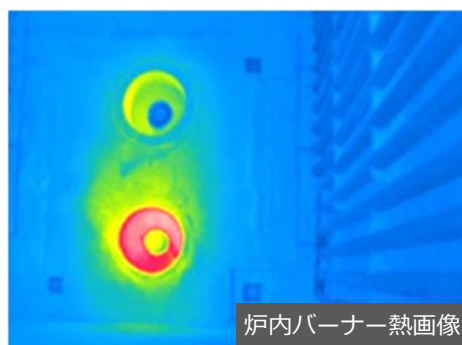
## ■火炎越し計測用モデル R300WB の特徴

- ・上限1500℃までの高温計測が可能な高温測定モデル
- ・石炭火力炉や石油精製炉の内部を火炎越しで鮮明に撮影
- ・「熱画像」と「可視画像」を同時録画
- ・防護シールドで測定者を輻射熱から保護



炉内バーナー可視画像

炎でバーナーが見えません



炉内バーナー熱画像

炎越しでもバーナーの温度分布が確認できます

## ■スタンダードモデル G100 の特徴

- ・片手で操作できるガングリップスタイルとフリーアングル液晶
- ・短い距離でも広範囲な測定ができるワイド視野角
- ・小さな対象物の測定に適した短焦点測定
- ・分かりやすい可視像と熱画像の並列表示・重ね合わせ表示

## ■本体仕様

機能	火炎越し計測用モデル：R300WB	スタンダードモデル：G100
		
センサ	2次元非冷却センサ（マイクロボロメータ）	
測定波長	3.7μm～3.9μm	8μm～14μm
温度測定範囲	400℃～1500℃	-40℃～500℃
温度分解能	4.0℃ at 400℃	0.06℃ at 30℃（S/N改善時）
温度指示精度	±1℃	±2℃ or ±2%
検出器画素数	320(H)×240(V)画素	320(H)×240(V)画素
空間分解能	標準時：1.2mrad 超解像時（SRモード）：0.8mrad相当	1.78mrad
測定距離範囲	50cm～∞	10cm～∞
温度補正機能	放射率補正，環境・背景温度補正，距離補正，NUC	
階調表示	256/32/16/8 階調	256/16/8 階調



### 日本非破壊検査株式会社

本社	TEL 03-3761-3521	FAX 03-5763-7049
鹿島営業所	TEL 0299-90-6115	FAX 0299-96-8844
千葉営業所	TEL 0436-22-9378	FAX 0436-22-9379
東京営業所	TEL 044-542-4270	FAX 044-542-4271
四日市事業所	TEL 059-345-2444	FAX 059-347-1497
知多出張所	TEL 0562-33-1070	FAX 0562-33-1438
水島事業所	TEL 086-455-5083	FAX 086-455-7594
技術センター	TEL 086-450-3377	FAX 086-450-3378

詳しくは、上記水島事業所までお問い合わせ下さい